授業科目	保育内容「健康」の指導法					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	藤田　稔子						
授業概要	子どもの健やかな成長の基本となるものは、子どもの健康です。例えば、子ども達は愛情豊かな環境でこそミルクをたくさん飲むことができ成長していきます。また、様々な生活習慣を獲得する時期も乳幼児期です。この時期の日常生活にまつわる体験が、その子どもの生涯を通じた「健康で安全な生活を作り出す力」を培う「生きる力」となります。保育における「養護」と領域「健康」は、そのような力を育む内容です。 本科目では、領域「健康」のねらい及び内容に沿って、野外での演習も入れつつ「理論」→「演習（グループで考える・ディスカッションする）」→「模擬保育（実際に展開する）」→「振り返る」のサイクルで進めていきます。						
授業形態	演習			授業方法	グループワーク 模擬保育 フィールドワーク		
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	本科目で達成して欲しい行動目標は、 １．領域「健康」のねらい及び内容を理解できている ２．領域「健康」のねらい及び内容を踏まえ、乳幼児が経験し身につけていく内容と指導上の留意点を理解している ３．幼稚園教育・保育所保育における評価の考え方を理解している ４．領域「健康」において、乳幼児が経験し身につけていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している ５．乳幼児の発達を視野に入れた保育の構想、養護の重要性を理解している ６．領域「健康」の特性や乳幼児の発達との関連を考慮した教材の活用方法を理解し、養護及び保育の構想や指導に活かすことができている ７．具体的な保育を想定した指導案を作成し、模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている ８．領域「健康」に特化した社会の状況を把握、考慮した具体的な保育の構想に結び付けることができている 上記を踏まえ、標準的レベルでは、 １．幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「健康」のねらい及び内容の具体的なイメージができる ２．基本的な生活習慣、食育、病気予防や安全への取り組みに関心が持てる ３．乳幼児の発達を考慮した保育の構想を指導案に起こし、模擬保育で実践できる						
理想的レベル	標準的レベルに加え、理想的レベルでは、 １．乳幼児の発達を踏まえ、養護や保育の構想が具体的に導き出すことができる ２．基本的な生活習慣、食育、病気予防や安全への取り組みに関心を持ち、自主的に情報を集め、保育に活かす発想を持つことができる ３．模擬保育を通して省察できる						
評価方法・評価割合							

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	30%	第 15 回の授業内で「チェックリスト」と共に完成させ提出する
発表（口頭、プレゼンテーション）	10%	模擬保育
レポート外の提出物	40%	模擬保育の時に用いる教材、課題の記録用紙
その他	20%	各回コメントシート

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	CH21308J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
（予習）シラバスで次回の内容を確認したうえで、必要な事前準備をしてきてください （復習）各回で提示します	1

授業計画

第 1 回	テーマ：オリエンテーション 本科目の授業の進め方や評価方法等の説明をします。その後、1 年生で学んだ「子どもと健康」を踏まえ、領域「健康」及び保育所保育指針の「養護」について解説します
第 2 回	テーマ：領域「健康」の展開について学ぼう ワークシートを用いて、0 歳児・未満児・以上児の発達と領域「健康」のねらい及び内容、留意点を整理します
第 3 回	テーマ：安心・安全な生活環境を考えよう① 3 歳未満児が安心・安全な生活の中で形成される生活リズムや遊び等解説します。その後、グループで保育室の環境について考えます
第 4 回	テーマ：安心・安全な生活環境を考えよう② 第 3 回の授業に導き出した保育室でのコーナー遊びの展開についてグループ内で深め、クラス内で発表しあいます
第 5 回	テーマ：環境と関わりながら体を動かす戸外あそびを考えよう① 勝山公園に出向き、戸外あそびの環境を観察しワークシートに記録します
第 6 回	テーマ：環境と関わりながら体を動かす戸外あそびを考えよう② 勝山公園の環境を生かした活動をグループで考え、遊びを考える
第 7 回	テーマ：環境と関わりながら体を動かす戸外あそびを考えよう③ 勝山公園に出向き、各グループ考えた「戸外あそび」を実践します
第 8 回	テーマ：基本的な生活習慣を身につける関わりを考えよう① 基本的な生活習慣とその発達について解説します。その後、ワークシートを用いて図書館等も利用してテーマごとの課題に取り組みます
第 9 回	テーマ：基本的な生活習慣を身につける関わりを考えよう② 第 8 回目のワークの続きに取り組み、授業の後半でグループワークの成果の発表をおこないます
第 10 回	テーマ：食べることを楽しむ関わりを考えよう①

	生活や遊びを通して食への興味関心を持つための基本的な内容を解説します。その後、グループに分かれて食育ピクトグラムを用いたワークをし発表しあいます
第 11 回	テーマ：食べることを楽しむ関わりを考えよう② グループに分かれて、テーマに沿った保育活動を考え指導案、必要な教材を作成します
第 12 回	テーマ：食べることを楽しみ関わりを考えよう③ 第 11 回の授業で作成した指導案に基づき実践します
第 13 回	テーマ：虫歯予防の活動を考えよう① 発達段階に応じた歯科衛生を考え、指導案・必要な教材を作成します
第 14 回	テーマ：虫歯予防の活動を考えよう② 第 13 回の授業で作成した指導案に基づき実践します
第 15 回	テーマ：まとめ 今までの学習をチェックリストを用いて振り返りレポートにまとめます。また、小学校との連携・接続、特別な配慮を要する子どもと健康についても説明します
テキスト	・子どもと社会の未来を拓く－保育内容－健康　高橋弥生・臼井達矢編　青踏社、2022. ・平成 29 年告示　幼稚園教育要領　保育所保育指針　幼保連携型認定こども園教育・保育要領
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義の中でその都度ご紹介します
課題に対するフィードバックの方法	・課題の記録用紙は、必要に応じてコメントを付け返却いたします ・各回のコメントシートで記載された質問等は、次回授業時にコメントを付けて返却します
学生へのメッセージ・コメント	既習の関連科目、特に「子どもと健康」「子どもの運動あそび」「子どもの保健」は必ず復習し、内容によってその教科書やノート、資料を持参して授業に臨むと理解がより深まります ・お天気次第で授業進行が前後する可能性があります。classroom の連絡を見落とさないように注意してください ・領域「健康」は、貴女自身の日常生活行為や習慣等に深くかかわる内容です。自身の生活も見直す機会にしてください（例えば、お箸の持ち方や生活習慣にまつわるマナー等） ・ノートを別途作成する必要はありません。ワークシート等を用いて学習が整理できるようにしておきます。そのため、ワークシート等をファイリングしておけるよう準備をしておいてください ・本科目は、グループワークを多く活用します。グループ内での関係性構築や役割遂行、協働する等の力も身につけてください ・グループワークで進めることが多いため、何か気にかかることがあれば早めに相談に来てください